

実行委員長挨拶



2024年度経営研究集会
実行委員長 佐藤 周司
仙周工業株式会社 代表取締役

日本経済の失われた30年と言われる近年。ここ数年は感染症の蔓延、戦争や紛争、物価や人件費の高騰、人材に関わる様々な問題、天変地異など、より一層世界的な外部環境の変化が生じています。先の見通せない情勢が続く中、さらにデジタルやAIの発展にともなう「新時代」への突入。このような時代において、変革をしないことは大きなリスクになると考えられます。

それらの経営上の問題・課題に対して、社員と一緒に取り組むために経営指針を成文化し、ひいては実践につながる経営スキルを磨くことが求められています。「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任」と労使見解にあるように、人を生かす経営を実践することこそ、この難局をのりこえる確かな保証と考えます。

この集会で学びと気づきを得て、それぞれのフィールドに戻り、会社、地域をよくするきっかけとなる。そのような集会となることを期待し、基調講演と分科会を準備しています。皆さんのご参加を心からお待ちしております。

開催目的

1. 会員一社一社の経営課題の解決の場(きっかけ)とする
2. 会員増強の契機(2024年度会勢目標1130名、支部活性化)
3. 経済団体としての認知度向上(対外発信の強化)
4. 活動成果(3つの目的)の確認
5. 県内各地域の中小企業振興基本条例制定運動の推進(地域づくり)

2024年度経営研究集会の参加申込はe.doyu(WEB)でも受け付けています

会員・ゲスト(未会員)問わず、右記のQRコードからも申込が可能です。申込受理後、確認書兼請求書をFAXもしくはメールでお送りします。参加費の事前振込をお願い致します。



パレスへいあん

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1丁目2-2
TEL: 022-213-1122

地下鉄→仙台駅・広瀬通り駅より徒歩3分

JR→仙台駅西口より徒歩約5分

車→東北道宮城I.Cから、仙台駅方面へ車で約10分

当日のタイムスケジュール

全体会

- 13:00 ●全体会開会 ●代表理事挨拶 ●実行委員長挨拶 ●来賓紹介・来賓挨拶
- 13:30 ●基調講演
株式会社イーエスプランニング 代表取締役 藤岡義己氏
- 14:30 ●全体会閉会 ●休憩・移動 20分

分科会

- 14:50 ●分科会開会
- 体験報告
- 休憩
- グループ討論[自己紹介 討論テーマに沿って]
- グループ討論の発表
- 質疑応答・補足報告
- 座長のまとめ
- 18:15 ●お知らせ ●分科会閉会
- 18:45 ●懇親会開会

2024年度 経営研究集会 2025年2月20日(木)

13:00 全体会 / 14:50 分科会 / 18:45 懇親会

会場:パレスへいあん

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-2 TEL 022-213-1122
全館貸切(現地開催のみ)

参加費:8,000円 懇親会:8,000円



参加申込はこちらから



Facebookで情報配信中



一般社団法人宮城県中小企業家同友会

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-3東口鳳月ビル4F
TEL 022-355-2771 FAX 022-257-3220
e-mail/miyagi@m-doyu.gr.jp

未来を描く経営スキル

生きぬけ

変革の時代を

若者に選ばれる企業 官民連携 幹部育成 リーダーシップ
 賃上げ 生産性アップ 数字に強い チーム力 地域の魅力
 付加価値向上

基調講演

「変革の時代を生きぬけ」～未来を描く経営スキル～



会社概要
 設立 1992年
 社員数 23名
 パート・アルバイト数: 46名
 資本金: 4,000万円
 年商: 14億8,754万円
 事業内容
 不動産事業(駐車場)をサポートする会社
 URL <https://www.esplanning.co.jp/>

報告者 / 株式会社イーエスプランニング 代表取締役 藤岡 義己氏
 (兵庫同友会代表理事)

「我流の知識で継続できるほど経営は甘くない。経営を学びたい」との思いで1992年、創業2年目のときに藤岡氏は同友会に入会しました。1995年に阪神淡路大震災で被災してから現在まで、ビジネスモデルを再構築しながら「強い会社」へ、そして積極的に行政施策にも取り組んで24の認証を取得し、地域に必要とされる「良い会社」へと成長してきました。次に目指しているのは「なくてはならない企業」。

藤岡氏の取り組みのキーポイントは、「経営姿勢の確立」と「経営者に必要なスキル」を学び実践し続けたことにあります。差別化し独自性を作り出す経営指針。経営指針の実践に必要な経営スキルのアップデート。聞いた話を経営ノウハウで終わらせず、会社の体質にするコツを藤岡氏の取り組みから学びとる基調講演です。

経営研究集会とは

経営研究集会のスタートは2004年、今年度で21回目を迎えます。その名の通り、経営を研究する場と位置づけ、基調講演(全体会)と5つの分科会から学び合います。2011年の東日本大震災時、2020～2022年のコロナ禍においても開催を中止することなく「どうしたらやれるか?」と中小企業の現場同様、工夫を凝らして継続してきました。

今年度も、中小企業の現場にある現実的な悩みと問題を出し合い、解決に向け、バラエティに富んだテーマを設定しました。経営研究集会を通して、経営者一人ひとり、一社一社が成長するきっかけの場となることをめざして開催します。「経営者は一人じゃない」「経営を語れる仲間とは同友会で見つかります」。皆様のご参加心よりお待ちしております。

基調講演

株式会社イーエスプランニングの藤岡氏の体験報告を自社の問題課題と照らし合わせながら聞きます。同友会活動は、参加者一人一人が主役です。事前に自社や自分自身にどのような悩みや問題があるかを考えて臨みましょう。

分科会

基調講演の報告内容を基に5つのテーマごとに分かれ、体験報告とグループ討論(意見交換)で学びを深めます。知識をインプットするだけでなく、明日から使える知恵に転換するためのアウトプットも行うことが特徴です。

懇親会

全体会会場に戻り、懇親会を行います。年に一度、全県から会員と未会員(ゲスト)が集まる機会です。分科会で語り切れなかった話の続きや情報交換、名刺交換の場として、是非ご参加ください。



未来への投資 現状維持は衰退 ピンチをチャンスへ
 事業再構築 付加価値 魅力ある会社 強み弱み



分科会テーマは宮城同友会2030ビジョン(MDGs)の項目から抽出しています。

社員が集まり育ち、幸せな会社

第1分科会

株式会社志乃屋 代表取締役 押野 成人氏
 (青葉支部会員)



設立 1972年
 社員数 133名
 資本金: 400万円
 年商: 7億円
 事業内容
 美容室、エステ、プライダル

山形県と宮城県で美容室14店舗を展開する株式会社志乃屋は、現代表・押野氏の両親が創業した会社です。初代をはじめ家族に美容師はいません。押野氏は大学卒業後、大手企業の半導体メモリの研究開発に従事していましたが、結婚を機に家業に入りました。当時は低い単価と客数減、そして採用減という課題に直面していました。家業に入って3年後に社長を継ぎ、「社員はもっと報われてはいけず。もっと報われる方法があるはずだ」という思いで変革が始まりました。現在では客単価が3700円→9400円、年間休日数は90日→120日、平均年収は440万円、新卒採用は5年で58名、定年実績は10名となりました。押野氏の報告から地方でも社員が集まり育つ、幸せを全うできる会社作りについて学び合います。

地域・社会に新しく魅力ある価値を提供し続けられる強い会社

第2分科会

大貫建築株式会社 代表取締役 大貫 潤平氏
 (太白支部会員)



設立 2006年
 社員数 4名
 (内パート・アルバイト数2名)
 資本金: 300万円
 年商: 2億円
 事業内容
 注文住宅企画・施工

18歳から大工として働き、技術を身に付けていった大貫氏。創業し、下請けから元請けへと移行する際、「経営のやり方さえ学べば必ず成功する」と信じ、セミナーやコンサル企業に多額の資金をつぎ込みました。「経営の勉強をするなら同友会」という知人の勧めで入会し、経営手法だけでなく、お客様の人生にとって家を建てるということの本質を深掘りし、大貫建築の理念を明文化しました。理念はすなわち経営姿勢(在り方)で、それを社員・お客様・協力業者へ語ることで選ばれた工務店へと転換していきました。その思いはお客様から新たなお客様を生み出し、現在新築注文は一年待ち。経営のブレない軸とスキルの両方を持ち、新たな価値を提供し続けられる企業づくりを学べる分科会です。

カッコ良い経営者/魅力型

第3分科会

宮城三菱自動車販売株式会社 代表取締役社長 千田 茂穂氏
 (宮城野支部会員)



設立 1960年
 社員数 224名
 (内パート・アルバイト数25名)
 資本金: 5,000万円
 年商: 68億円
 事業内容
 新車・中古車販売、アフターサービスなど
 カーライフ全般 宮城県内11店

先代の父が気仙沼でパンク修理業として創業し、その後日本一小さい三菱正規ディーラーとなり、岩手と宮城でディーラーをM&Aしながら規模を拡大してきました。メーカー不祥事が発生した際、退職者はわずか数名。働き続ける社員のためにも、本気でいい会社をつくりたいとギアを上げたのです。「関係者にとって永遠に必要とされる企業であり続ける」という理念を明文化し、社員一人ひとりと対話を重ねてきました。「お客様にとって信頼される人になることで、悩みを気軽に相談できる=求められる企業になる」と語る千田氏。経営者として、関係者(社員、お客様、地域)に信頼される人になっていますか?「この人についていきたい!」と思われる魅力ある経営者に近づくために学ぶ分科会です。

カッコ良い経営者/挑戦型

第4分科会

社会福祉法人想伝舎 理事長 四釜 喜愛氏
 (泉支部会員)



設立 1986年開園、2017年法人設立
 社員数 78名
 (内パート・アルバイト数30名)
 基本金: 300万円
 年商: 3億円
 事業内容
 幼保連携型認定こども園(2園)、障害者事業所(2ヶ所)

「どうすれば社員は定着するのか」「どうすれば売上があがるのか」などなど、経営者はこんな悩みを一度は持ったことがあると思います。「食べ物からも健康を考えてみませんか」をコンセプトに39年前に両親が開園した無認可保育園「しかまべピーホーム」。

四釜氏は先代より保育園事業を引き継ぎ、7年前に法人化。自分の会社がどうなったらいいか、自分の人生がどうなったらいいかを社員に寄り添いながら問いかけてきました。今では、保育園事業だけではなく障がい事業等を広げ、10年前と比べ売上は約9倍に。2024年12月には今までの強みを活かすべく新規事業の為に株式会社を設立しました。企業や経営者の過去、現在、未来を紐解き、失敗しながら挑戦し続ける経営者の考え方から「強みを伸ばし付加価値を高める」企業づくりを学びます。

共に生きる企業が人と資源を生かし活性化している地域

第5分科会

株式会社アップルファーム 取締役 渡部 将也氏
 (青葉支部会員)



設立 2010年
 社員数 130名
 (内パート・アルバイト数95名)
 資本金: 800万円
 年商: 7億円
 事業内容
 ビュッフェレストラン・就労継続支援A型B型・障がい者グループホーム・保育園の運営、障がい者雇用のコンサルテイング

障害者のある人とない人の区別がつかない、そう表現される自然派ビュッフェレストラン「六丁目農園」の障がい者雇用は40%を誇ります。人口減の時代のなかで、働き手の確保が難しいと多く言われています。その一方で、障がい者の雇用の難しさも語られます。障がい者を「納税者」にする。アップルファームは創業時よりこの大きな目標を掲げて実践してきました。その実践とは、社会的弱者として過保護にされるより、働いて人の役に立ち、感謝され、心身ともに自立することを望む彼らの本質を尊重し、その能力や資質を生かすのです。また、後継者がいることは企業存続の課題でも、地域存続の課題でもあります。第5分科会では、誰もがイキイキと働ける地域社会の実現に向けた課題解決と子育て、後継者問題と事業承継を考えます。